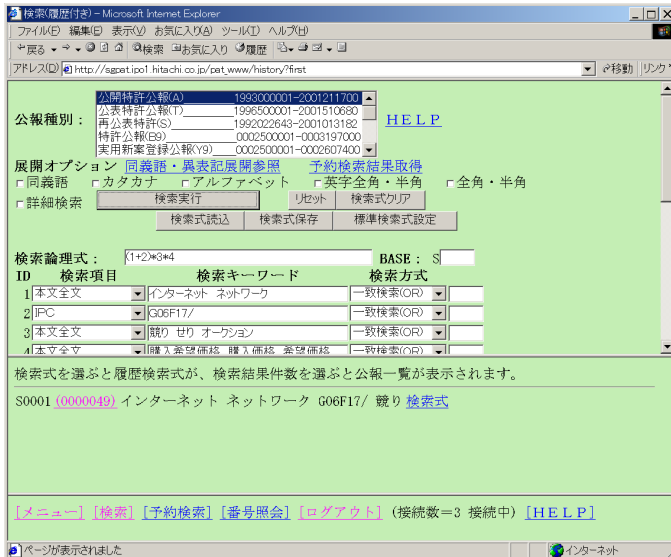


4. 国内特許データベース（Web方式）用

国内特許データベース／Web方式で利用するときのSGshotの利用法を説明します。

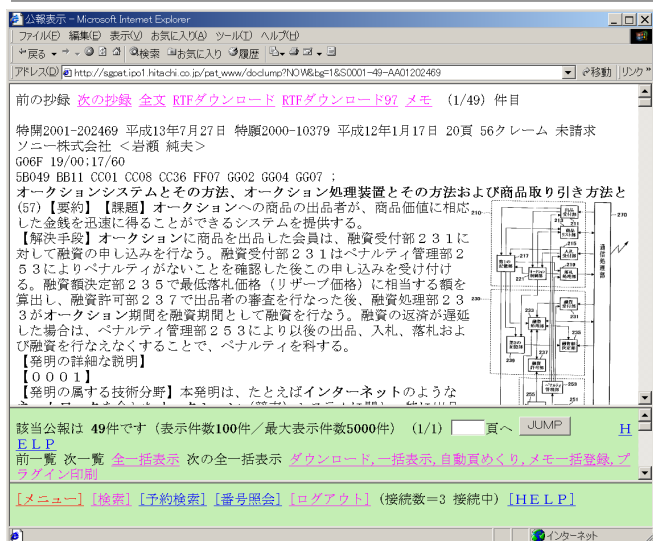
利用の基本・・・「全一括表示」で出力・表示したデータをコピーして（またはファイルに保存して）、それを対象に加工します。ここでは共通事項を説明し、4. 1以降で、3件／頁プリントなどのそれぞれの利用法を説明します。



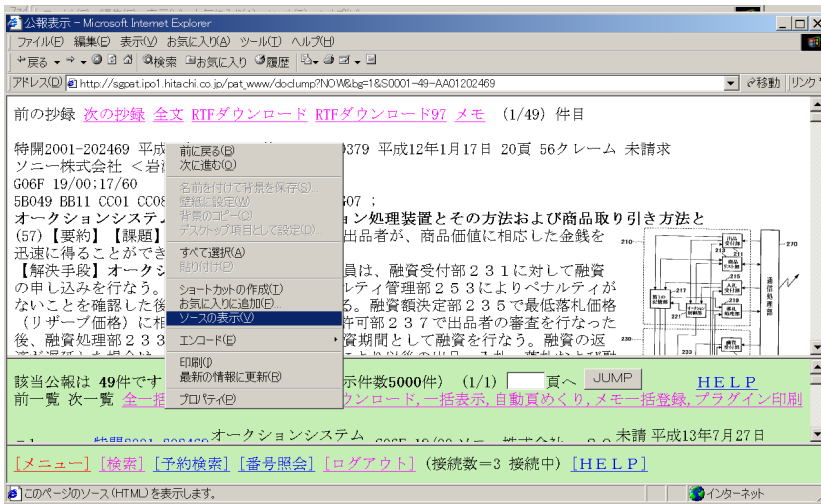
左は、検索して該当件数の表示された画面です。ここで件数をクリックして特許番号や題名の出力を指示します。



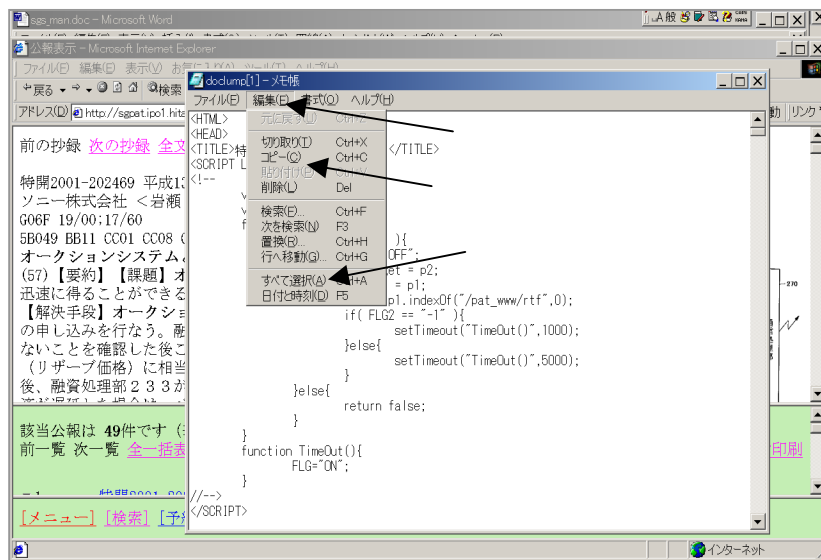
ここで、「全一括表示」をクリックします。



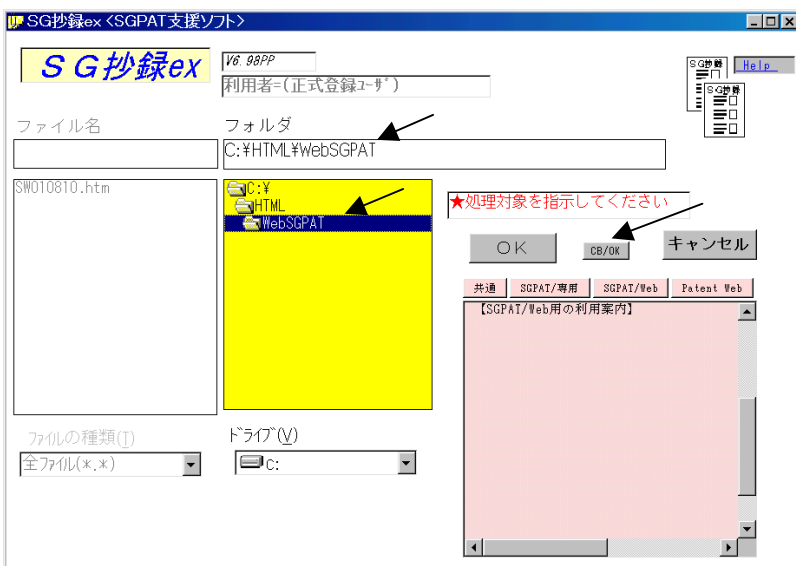
上のフレームに要約や代表図面が表示されます。データが届いたら順次表示されます。ですから、全部のデータが来ていなくても一件目は表示されますので注意が必要です。右上のインジケータが止まったら、設定されている件数分のデータが全て着信したことになります。



抄録の表示されているフレームにマウスのカーソルを置き、そこで右クリックをします。プルダウンメニューが表示されたら「ソースの表示」を選択します。注意・・・特許リストの表示されたフレームなどにマウスを置いてクリックしたのではダメです。



ソース表示画面で、「編集」 - 「すべて選択」 - 「編集」 - 「コピー」で、ソース表示を全てコピーします。



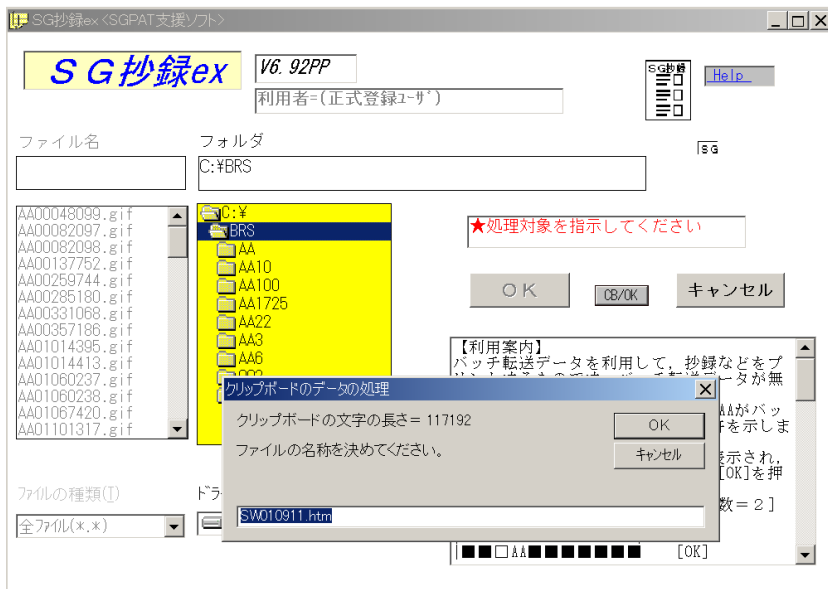
次に「SGshot」を立ち上げます。

まず、適当なフォルダを指定します。このフォルダは上記でコピーした処理データやサーバから読み込んだ図面データを保存するものです。

次に [CB/OK] をクリックします。

参考；ファイルを指定して処理するときは、フォルダとファイル名称を指定し、[OK] をクリックします。なお、このファイルを他のソフトで保存しなおさないでください。

微妙なデータ内容が変わって、処理できなくなることがあります。



「クリップボードのデータの処理」の案内が表示されます。

クリップボードの文字数が表示されますので、参考にしてください。下のボックスに SW と日付を組み合わせたファイル名が表示されます。変更可能です。拡張子は htm にしてください。

了解ならば [OK] を押します。(これで、コピーデータは指定フォルダに保存されます。)

参考・・・後でこのファイルを指

定して [OK] をクリックすることで、同じようなことができます。

注意・・・前と同じフォルダでファイル名称を同じにすると前のデータが消えます。同一日に同じフォルダで 2 回やるときはご注意ください。



画面上部の表示を確認してください。(国内特許データベースの Web 方式の場合、自動的にこの案内が出ます。)

もし、これが見えない場合は [キャンセル] して、再度、ソースデータのコピーからやり直してください。

小図面（粗い図面）のときはサーバに接続してなくても図面をプリントできます。(Iサーバから図面データを読み出します。)

大図面の（高精細の図面）ときは、「HTML 形式」で指定したサーバに予め接続しておく必要があります。（データを取り出した直後は接続されているので、該当のサーバをチェックします。なお、両方チェックすると Iサーバを選択と同じになります。）

※各形式の共通事項

(1) プリントされる抄録の内容は、基本的には国内特許データベース / Web で出力表示した内容です。

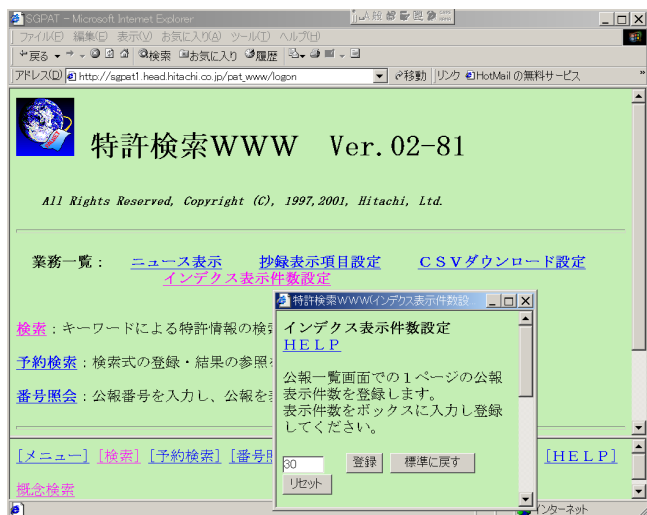
※便利な利用法

国内特許データベースはインデクス表示（番号や題名の一覧表）の件数分だけ抄録や代表図面を、一括して表示することができます。一方、SGshot ソフトでは、出力表示している抄録や代表図面の全体を処理します。

そこで、SGshot を利用する場合、そのインデクス表示件数を 30 件や 60 件に設定しておく

と便利です。その理由は、3 件／頁や 6 件／頁を利用する場合、用紙に余白なくプリントされるためです。つまり、30 件の設定では、3 件／頁のプリントでは 10 頁、6 件／頁では 5 頁に余白なくプリントされます。

設定は、国内特許データベース／Web のトップ画面の「インデクス表示件数設定」で設定します。



4. 1 3件/頁のプリント作成

SG抄録ex 形式の設定 利用者=(正式登録ユーザ)

処理の基本形式 SGPAT/Web

抄録などのプリント

3件/頁 2件/頁 1件1図/頁(表示・プリント) ファイル作成

6件/頁 全クレーム-図(表示・プリント) 統計分析

内容

分野,要約,手段 分野,要約,クレーム 分野,要約(+手段) 図無し(分野,要約,手段)

注意

注. 指定領域に入らないときは,文末に+マーク。

先にプリントする項目

分野,要約 クレーム 分野,クレーム

注. 登録公報には要約はない。

プリントのクレーム, その他

全クレーム 独立クレームのみ KWIC

注. 3件/頁などでは,入る限り。

プリントの図面の大小(小は短時間)

小図面 大図面

複数図面の場合

転送済み全図 最大数制限

注. 本文中にイメージデータがある場合,それを除いたものが対象。

20

Struct利用(正式図のみ利用)

ヘッダ

MU

ファイルの内容

分野,要約,手段(図あり) 分野,要約,手段(図なし) 分野リスト

HTML形式 分野リスト

題名 題名,分野

全クレーム-図の場合の頁数

2頁 頁数制限なし

添付プリントのファイル名称

\$添付なし.txt

設定 キャンセル

◎3件/頁をチェックして「設定」をクリックします。

SgpWeb

利用者=(正式登録ユーザ)

ファイル名称=c:\HTML\Web\SGPAT\Te010810.htm

対象件数=48

処理を実行して良いですか?

OK

キャンセル

確認画面が出ますので、「OK」をクリックしてください。

処理の経過が表示され、処理が終了します。

1 / 5

特開2001-202469 平成13年7月27日 特願2000-10379 平成12年1月17日 未請求 56項 (20頁)

ソニー <岩瀬 純夫>

G06F 19/00;17/60

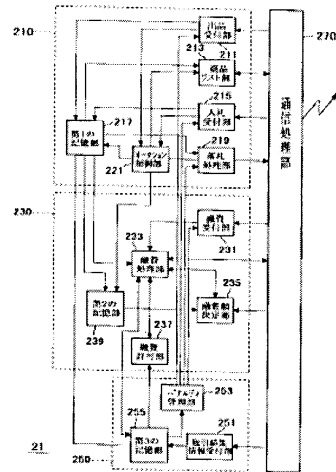
5B049 BB11 CC01 CC08 CC36 FF07 GG02 GG04 GG07 ;

オークションシステムとその方法、オークション処理装置とその方法および商品取り引き方法と

【分野】インターネットのようなネットワークを介したオークション（競売）システムに関し、特に出品者が迅速に適切な金銭を受け取ることでできるオークションシステムとオークション方法、そのオークションシステムに用いられる各オークション処理装置とその装置におけるオークション処理方法。

【要約】 【課題】オークションへの商品の出品者が、商品価値に相応した金銭を迅速に得ることができるシステムを提供する。

【解決手段】オークションに商品を出品した会員は、融資受付部231に対して融資の申し込みを行なう。融資受付部231はペナルティ管理部253によりペナルティがないことを確認した後この申し込みを受け付ける。融資額決定部235で最低落札価格（リザーブ価格）に相当する額を算出し、融資許可部237で出品者の審査を行なった後、融資処理部233がオークション期間を融資期間として融資を行なう。融資の返済が遅延した場合は、ペナルティ管理部253により以後の出品、入札、落札および融資を行なえなくすることで、ペナルティを科する。



2 / 5

特開2001-202445 平成13年7月27日 特願2000-14280 平成12年1月24日 請求有 20項 (23頁)

キャスト <小笠原 達>

G06F 17/60;ZEC:13/00 355;G07F 17/40

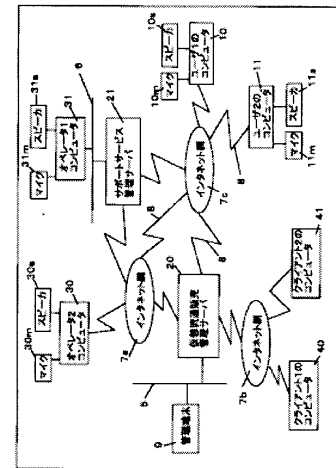
5B049 AA02 BB11 CC02 CC05 CC10 DD01 DD03 FF03 FF06 GG02 GG04 ;5B089 GA11 GB04 HA10 JA0...

仮想流通販売システム及び、そのプログラム媒体及び、その装置

【分野】家庭等で使用されるコンピュータにおいて、インターネット上のホームページに掲載された商品または、サービスをインターネットを介して購入する仮想流通販売システムにおいて、ホームページに掲載された商品の説明、購入方法などについて説明が必要となった時サポートセンタに接続する事で、ホームページを閲覧している状態そのまま、掲載されている商品または、サービスの内容または、購入方法などの説明をサポートオペレータによる音声による解説、またはコンピュータの操作によるサポートサービスを受ける事ができるようにしたシステム、装置及びそのためのプログラムを記憶した記憶媒体。

【要約】 【課題】Web Shopホームページを閲覧し商品を購入しようとしているユーザが、商品又は購入方法についての説明又は支援を、音声又はコンピュータの操作により、サポートオペレータから得られるようにすること。

【解決手段】Web Shopホームページを閲覧しているユーザコンピュータからサポートサービス管理サーバにインターネットを介して接続し、サポートサービス管理サーバにより、サポートオペレータのコンピュータとインターネットを介して接続する事により、ユーザコンピュータ+



3 / 5

特開2001-195612 平成13年7月19日 特願2000-7631 平成12年1月17日 未請求 14項 (10頁)

びあ <矢内 廣><覚張 正浩><池田 隆一><青田 径春><毎熊 秀美>

G07B 1/00;G06F 17/60;G07F 17/40

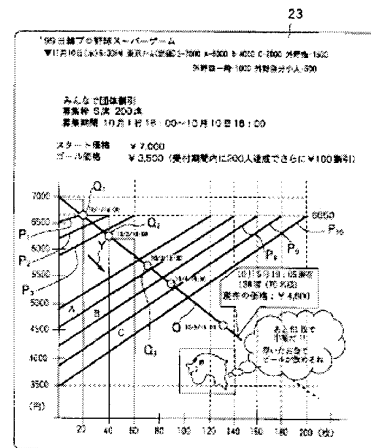
5B049 BB61 CC05 CC08 EE01 GG02 ;

商品チケットの販売方法及装置

【分野】商品チケット販売方法及装置に関し、詳しくは販売数に限りある商品、コンサート、イベント、スポーツ会場等のチケット（入券）の申し込み申し込み数に応じて価格を決定する方法とその装置。

【要約】 【課題】 インターネットを利用して、市場を混乱させることなく各種のチケットの値段を可能な限り下げようとする。

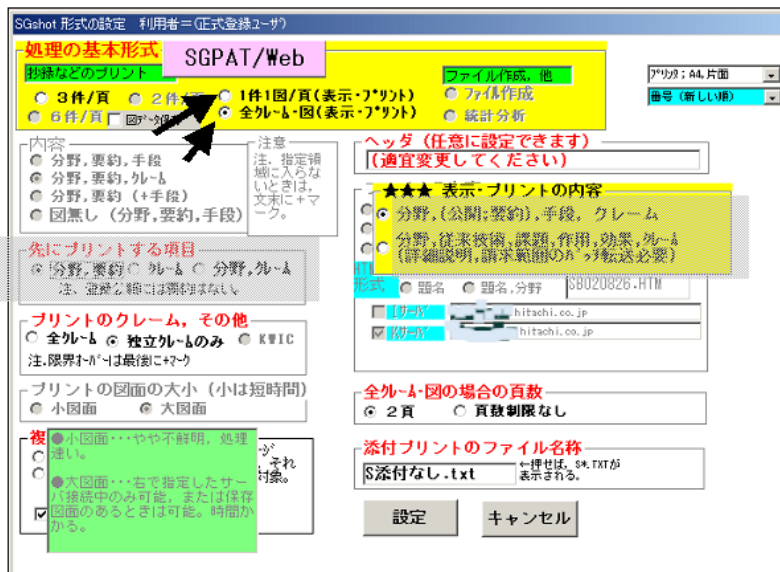
【解決手段】 通信網22を介してインターネット30に接続されたデータセンター10とこのデータセンター10にアクセス可能な端末20とから構成する。商品チケットの販売装置には、データセンター10に設けられ予め定められた所定枚数の商品チケットと予め定められた所定期間とを記憶するデータベース5と、前記複数の端末20から顧客毎に順番に申し込みを受け付け申し込みが発生した後前記商品チケットの価格を決定する演算装置2、7、13と、前記所定期間を検出する時計6とを備える。データセンター10には、商品チケットのスタート価格とそれより安い目標価格と前記所定期間とを予め設定する記憶装置5と、時計6のデータと前記申し込み数に基づいて前記演算装置2が商品チケットの価格を決定するために使用するプログラム7、13とを設け、決定された価格をインターネット30上で公開する+



4. 2 2件/頁プリント（国内特許データベース/Web）（未開発）

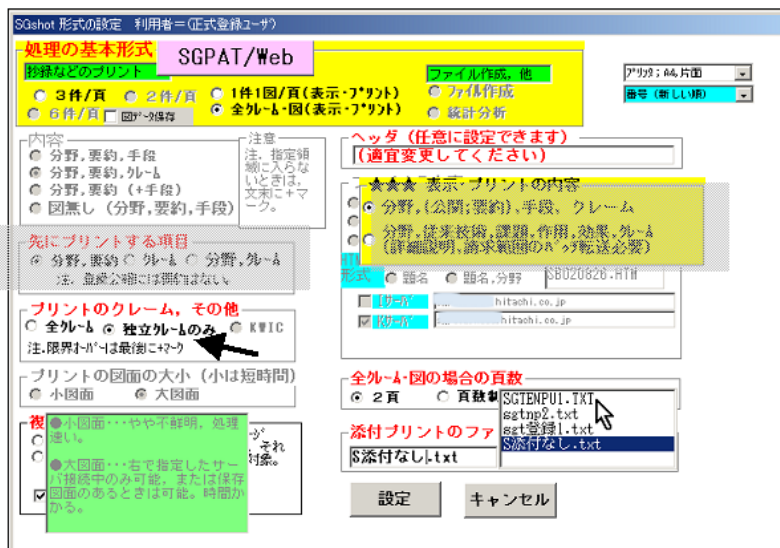
（まだできません。）

4. 3 1頁/件, 2頁/件などのプリント (国内特許データベース/Web)



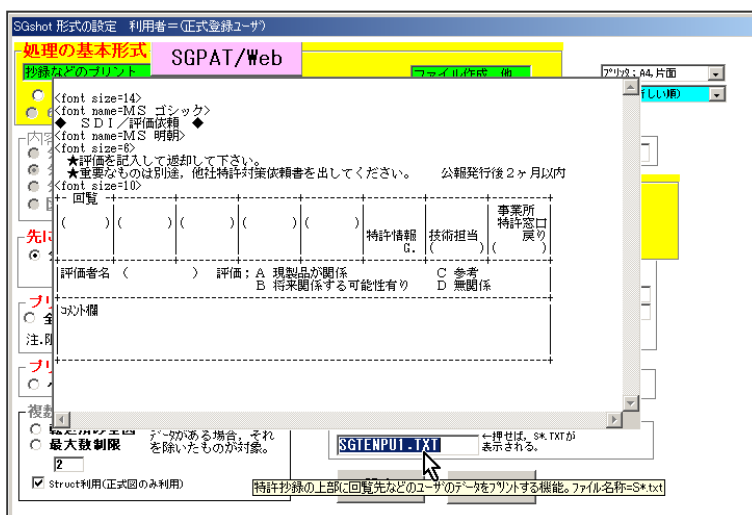
1頁/件, 2頁/件, 全図面 (頁数の制限なし) のプリントを行なうことができます。

半透明表示部分 は現在利用できません。



全クレームと独立クレームのみを選択できます。(国内特許データベース/Web で全クレームを表示させてコピーしてあるときのみ有効)

添付プリントの設定が行なえます。右下の「S添付なし.txt」をダブルクリックすると利用可能なファイルが表示されますので、必要なものを選択します。



選択されている添付プリント名をダブルクリックすると、その添付プリントの内容を見ることができます。再度、添付プリント名をダブルクリックすると表示は消えます。

添付プリントの作成・・・添付プリントとして使えるデータファイルは、あらかじめ SGTEMPU1.TXT などを用意していますが、これ以外にユーザが任意で作成できます。ファイル名称の先頭はSにしてください。

適当なワープロソフトで作成し、テキスト形式（拡張子が TXT）で保存してください。文字の大きさやフォント名称をやとして、行単位で指定できます。一行の一部の指定はできません。以下に実例を示して説明します。

◆ S D I / 評価依頼 ◆

★評価を記入して返却して下さい。

★重要なものは別途、他社特許対策依頼書を出してください。 公報発行後2ヶ月以内

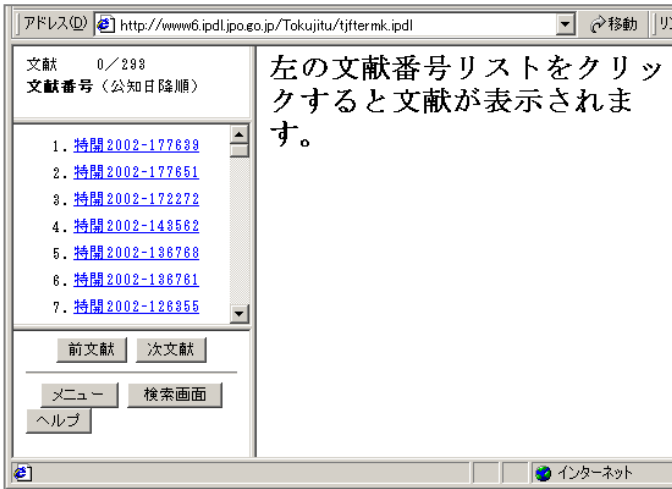
+- 回覧						
						事業所
()	()	()	()	()		特許窓口
					特許情報	技術担当 戻り
					G.	() ()

評価者名 ()	評価 ; A 現製品が関係			C 参考		
	B 将来関係する可能性有り			D 無関係		

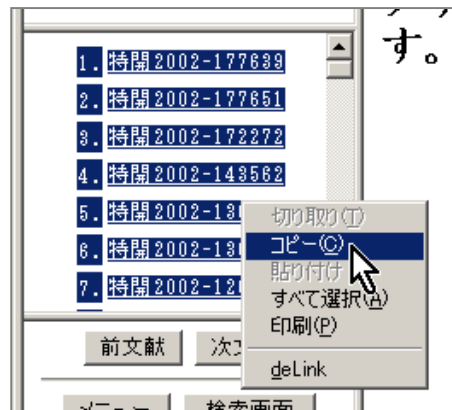
コメント欄						

4. 4 番号リストから国内特許データベース用の抄録・代表図の作成

特許番号リストをコピーしておいて SGshot を立ち上げることで、国内特許データベースから抄録や代表図の一括表示データを作成することができます。特許番号リストは、ワードなどに書かれた番号リストや、IPDL、その他の検索結果で得られる番号リストも利用できます。



左はIPDLの検索結果の画面です。下のように、番号部分を選択し、マウスの右クリックを使って、コピーします。



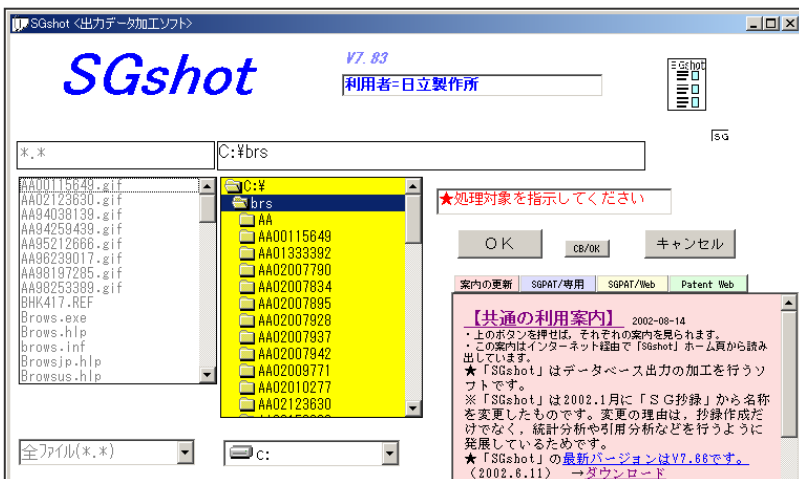
特開 5 - 1 2 3
 特許 3 0 0 1 0 0 1, 特公 6-2233, 特公 7-4455
 特公平 6-000456 移動体通信の○○○○○○○・・・
 特開 2001-7788 衛星通信電話の○○○・・・

※番号リストはIPDLの出力だけではなく、Word文書やExcelデータなど様々な形のもが利用可能です。また、全角、半角とも可能。番号部分の左のゼロはあっても無くても利用可能。ただし、ハイフンは必須です。さらに「特開平」

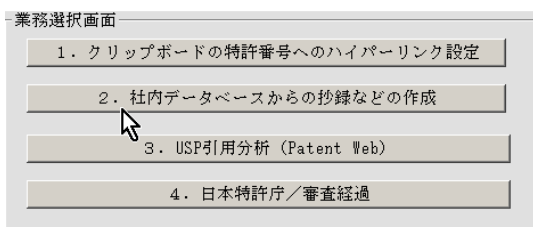
実開 7-4455	
特開 2 0 0 1 - 7 8 9	

の平が抜けているものも可能。番号は縦に並んでいても横に並んでいても、区切りのカンマやスペースはあっても無くても利用可能です。

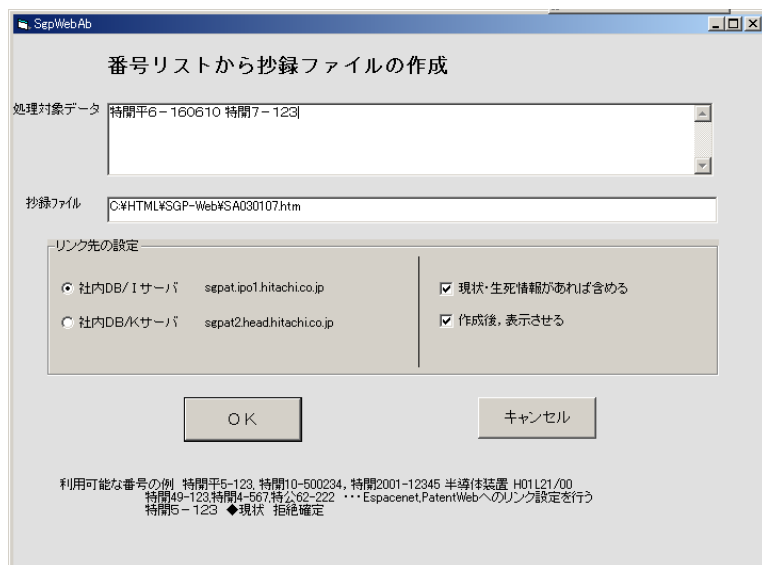
また、特許番号だけでなく、題名や出願人などが書かれたデータも、それらを含めてコピーして利用可能です。(現在のところ、番号以外のデータの長さは150字まで可能) なお、「特開」などの文字を認識して番号を拾い出すので、桁あわせなどは不要です。番号は公報番号であることが必要です。出願番号などは使えません。また、登録第2501001号などは、特許か実用新案か分からないので使えません。



次にSgshotを立ち上げ、保存するフォルダを選択した後、[CB/OK]をクリックします。



業務選択画面で、2番を選択してください。

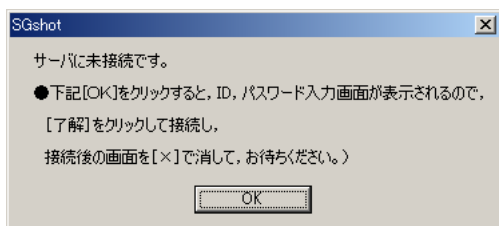


左の案内が表示されたら、抄録ファイル名称を確認・変更し、リンク先を決めて、[OK] をクリックしてください。ここで番号の変更も可能です。

◎クリップボードに何も入れないでいて、ここで番号入力しても利用可能です。

□現状・生死情報・・・は、※発展利用を参照ください。

□作成後、表示させる・・・これをチェックしたままにしておくと、抄録ファイル



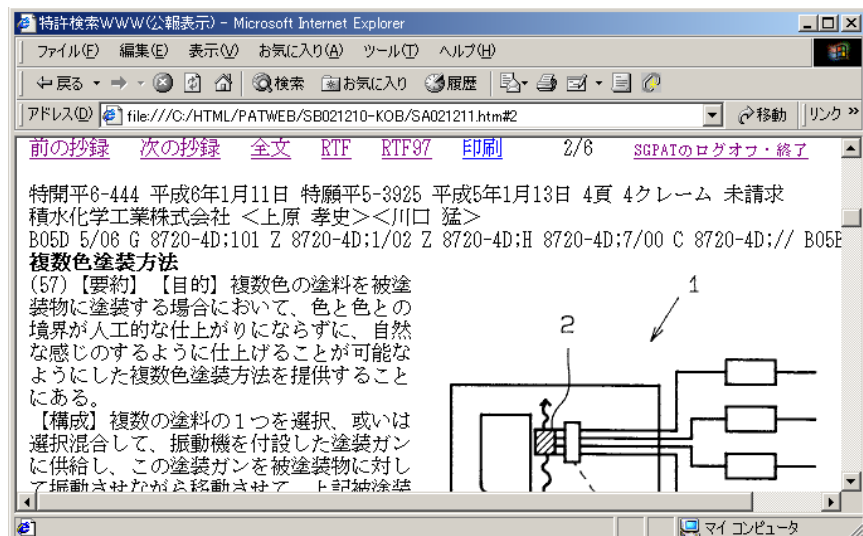
作成後、Internet Explorer が立ち上って表示されます。

リンク先サーバにつながっていない場合は、左のような案内が表示されます。

[OK] をクリックすると、国内特許データベースに接続のための ID、パスワード入力画面が出ますので、[了解] を

クリックします。国内特許データベースに接続すると「業務一覧」画面が出ますので、その画面右上の [×] をクリックして画面を消してください。

([×] で消す事は必須ではありませんが、消せば処理の進行状況が表示されます。)



抄録ファイルの作成が完了すると、(「作成後、表示させる」をチェックしてあれば) 左のようなファイルが表示されます。

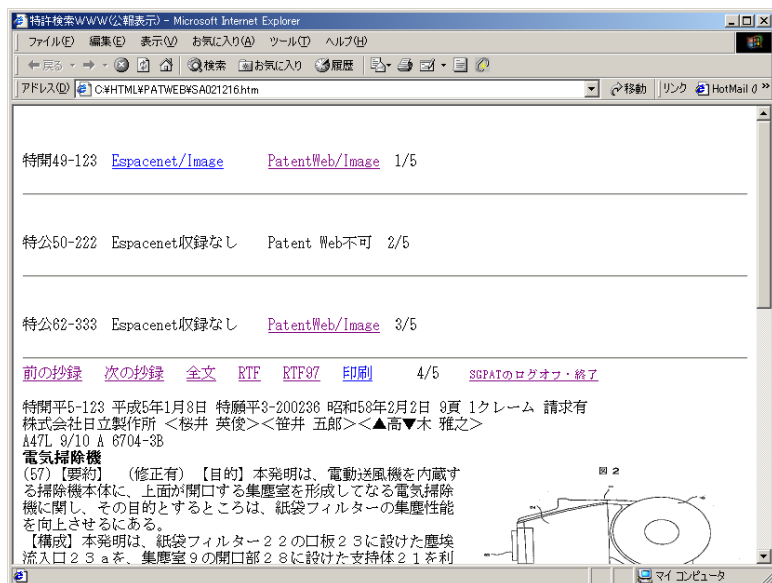
なお、この抄録の内容は国内特許データベースで各ユーザが設定登録している内容です。

「次の抄録」で瞬時に次の抄録を見られます。また、ネットワークにより国内特許データベースに接続可能ならば、「全文」などのリンクも有効です。

なお、このデータを対象に、3件/頁などのプリントも可能です。

※発展利用 1・・・国内特許データベースで収録していない特許の場合

その場合、Espacenet と、Patent Web へのリンクを設定します。(ただし、Patent Web へのリンクの設定は、Patent Web の Commercial Interface を利用するための社内 CGI サーバが利用可能で、かつその URL を SGshot に登録してある場合のみ有効です。)



★**注意**・・・特公51年までは部分的に Espacenet に収録され、特公62年以降は Patent Web に収録されています。特公52～61までは、どこにも収録されておらずリンクも不可能です。(IPDL にはありますが、ここで説明したような便利な利用はできませんので、各自にて接続してご利用ください。)

★**Espacenet** は、特開昭47-264以降、特公48-1以降が収録されています。(2002.12/17時点)
なお、1頁ずつ表示しかできません。また、ときどき接続が困難になることがあります。

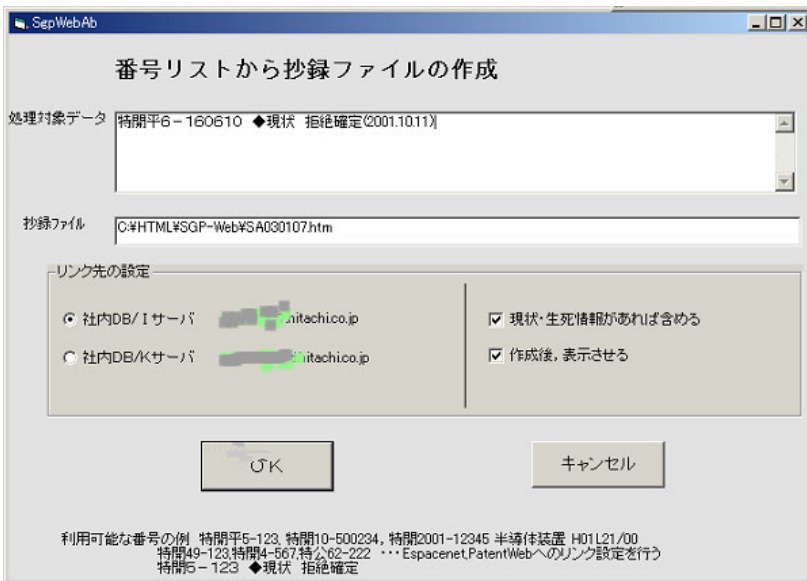
★**Patent Web** は、特開昭49-1以降、特公昭62-1以降を収録していますのでリンクされます。ただし、Patent Web へのリンクは社内の CGS サーバを経由しますので、社外からは利用できません。

★**(再)公表公報**は、H7年以前は国内特許データベースにありませんが、Espacenet、Patent Web に収録されているので、リンク可能です。

※発展利用2・・・番号リストから現状や生死情報付きの抄録の作成

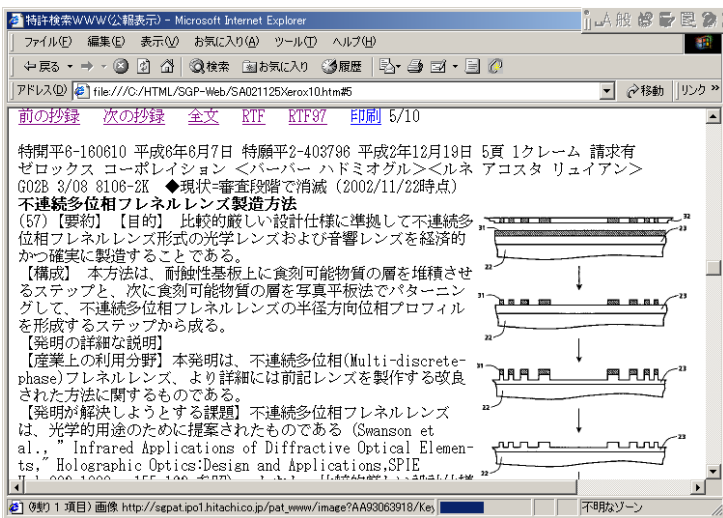
例えば、下記のように特許の現状に関する情報が番号リストに付いていた場合は、その情報を付けた形の抄録データを手に入れます。(SGshotで「◆現状」を認識して処理しています。)

特開平6-160610 ◆現状 拒絶確定(2001.10.11)



利用にあたっては、現状・生死情報があれば含める をデフォルトのまま、チェックしておきます。

※ [OK] をクリックする前に、利用するサーバにログインしておいてください。



左のように ◆現状= として、表示されます。この表示は、出願人名などの右に一定の空白があれば書かれますが、スペースがない場合にはその下の行に置かれます。極端な場合には、題名や抄録の中に置かれることもあります。

※ 「◆現状」の代わりに、「出願の生死情報」などもピックアップされます。

生死情報付きの番号リストは、PATOLIS の出力でも入手できます。なお、PATOLIS の出力は下記の実例のように特開平などでない書き方ですが、SGshot で特開平と変換するようにしてあります。

S1 (P) 2002/11/22 15/43

公開番号 平 6-160610 出願の生死情報 審査段階で消滅